

計 量 士 資 格 認 定 申 請 書

令和〇〇年〇〇月〇〇日

計量行政審議会会長 殿

申請者 住所 〇〇県〇〇市〇〇町 1 丁目 2 番地 3 号
氏名 計量 太郎

次のとおり、計量法第 122 条第 2 項第 1 号に掲げる者と同等以上の学識経験を有する者と認められたいので、申請します。

1 生年月日

昭和〇〇年〇〇月〇〇日

2 計量教習所の課程を修了した年月日

令和〇〇年〇〇月〇〇日

※一般計量士：一般計量特別教習修了日、環境計量士：一般計量教習修了日

3 環境計量士（濃度関係）又は環境計量士（騒音・振動関係）の資格認定を受けようとする者にあつては、環境計量特別教習（濃度関係）又は環境計量特別教習（騒音・振動関係）を修了した年月日

令和〇〇年〇〇月〇〇日

4 計量に関する実務に従事した期間及びその実務の内容

令和〇〇年〇〇月〇〇日～令和〇〇年〇〇月〇〇日（〇年〇ヶ月）
〔うち、質量計に関する実務期間 【一般計量士の場合のみ記入】〕
令和△△年△△月△△日～令和△△年△△月△△日（△年△ヶ月）
（但し、計量教習期間 5 ヶ月を除く）
株式会社〇〇 計量管理の実務（別表第〇第△項の□）

備考

- 1 用紙の大きさは、日本工業規格 A 4 とすること。
- 2 第 4 項の事項は、物象の状態の量ごとに、その計量に関する実務に従事した期間及びその実務の内容が明確になるように記載すること。